

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和05年02月03日

計画の名称	静岡県の陸・海・空のネットワークの形成、美しい港湾景観の保全と創造															
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	静岡県															
計画の目標	県内経済を支える物流拠点における港湾機能の再編、ならびに機能向上を推進し、効率化を図るとともに、人流・交流拠点としての機能を付加し、賑わいの創出を図る。															
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,602	A	1,602	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3末		R9末
1	清水港貝島地区に調査船・研究船専用の岸壁を整備することにより、清水港内の荷役船と調査船・研究船の輻輳による危険の解消及び荷役の効率化を図る。			
	貝島地区における調査船・研究船の着岸回数の増加	0隻・日	隻・日	160隻・日
2	清水港における、海洋文化拠点施設整備及び客船受入れ環境整備などの再開発と併せた栈橋の整備により、交流空間の創出を図る。			
	清水港内における水上バス利用者数の増加（年間利用者数）	46692人	人	57584人
3	御前崎港下岬地区の緑地への来訪者の増加を図る。			
	御前崎港下岬地区における港湾緑地の利用者数（年間利用者数）	1842人	人	1982人
4	御前崎港の沈没船を撤去することにより、適正な港湾環境を確保し、港湾施設の利用促進を図る。			
	御前崎港に係留する漁船隻数の維持	87隻	隻	87隻

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	一般	静岡県	直接	静岡県	拠点	改良	岸壁（改良）	延長 L=200m	清水港・貝島地区	■	■	■	■		672		未策定
		新規																	
	A02-002	港湾	一般	静岡県	直接	静岡県	拠点	建設	栈橋	栈橋 N=1基	清水港・折戸地区	■	■	■	■	■	477		—
		継続																	
	A02-003	港湾	一般	静岡県	直接	静岡県	重要	改良	御前崎港下岬地区統合補助事業（小規模緑地整備）	面積 A=0.9ha	御前崎港・下岬地区	■	■	■	■	■	78		—
		継続																	
	A02-004	港湾	一般	静岡県	直接	静岡県	重要	沈廃船等	御前崎港御前崎地区（沈廃船等処理）	沈廃船等処理 N= 1 艘	御前崎港・御前崎地区		■	■			30		—
		新規																	
	A02-005	港湾	一般	静岡県	直接	静岡県	重要	改良	鈴川跨線橋（改良）	N=1橋 L=35m	田子の浦港・鈴川地区			■			180		—
		新規																	
	A02-006	港湾	一般	静岡県	直接	静岡県	重要	改良	沼川新橋（改良）	N=1橋 L=63m	田子の浦港・依田橋地区			■	■		105		—
		新規																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-007	港湾	一般	静岡県	直接	静岡県	重要	改良	富士 6 号岸壁（改良）	防舷材 N=13基	田子の浦港・富士地区				■		60	—	
		新規																	
											小計						1,602		
											合計						1,602		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06	R07		
配分額 (a)	35	35	85		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	35	35	85		
前年度からの繰越額 (d)	172	29	21		
支払済額 (e)	178	43	43		
翌年度繰越額 (f)	29	21	63		
うち未契約繰越額(g)	17	2	18		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	8.21	3.12	16.98		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			関係者協議の難航		